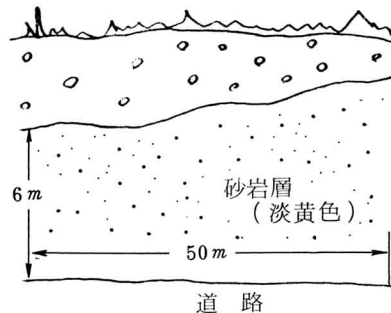


る所から地層を観察する。

- ① 地層の重なっている境を注意しながら崖をスケッチする。
 - ② 地層の色や、特徴があったら、スケッチに書き入れる。
 - ③ 地層が重なって、丘を作っていることを観察する。
- (3) 地層に近づいて観察する。



- ① 足もとに注意して、地層に近づき、手でさわってみる。ザラザラしているが川原の砂のようでないことがわかる。この淡黄色の地層は、砂に火山灰が混じっている砂岩層です。
- ② この砂岩の色は、淡黄色で、所によって青味をおびています。この色のちがいは、砂岩に含まれている鉄分の酸化の割合によるもので、青色の所は表面がくずれ、地層の内部が地表に出たためです。
このように表面の色だけで、岩石を分類する事はできないのです。
- ③ この砂岩層の上に、レキ岩の地層がつもっています。レキ岩層との境は、直線的でなく、デコボコしているのが特徴です。
砂岩は、川床や海辺のような所で見られるように、水中でつもる時はだいたい水平につもっていきます。その後、水中から顔をだし陸化すると、表面が流水などの働きでけずられ、デコボコができるのです。
- ④ 砂岩上のレキ岩のレキは、10～20cm大のもので、形はまるく、川原で見られるようなレキであることから、過去の川原と考えられます。
レキは主に花崗岩や、中生代の硬い砂岩などです。
- ⑤ 現在の川原は、このレキ岩層より低い位置であり、浪江町一帯は、現在の川のはたらきでできた沖積平野であり、崖に見られるレキ岩は洪積世に川のはたらきでできた地層です。

2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所
請戸橋より100m北の道路沿い。